

令和7年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立志茂田小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・対話する力、発信する力を育むためにカリキュラムマネジメント学習することにより、他教科と関連させたり、発展させたりして学習を進めることができた。
- ・発信する機会を多くもつことにより、自分の考えを堂々と伝えることができる児童が増えた。

(2) 課題

- ・対話力については、相手の質問に対して即時に思考する必要があるため、一朝一夕に身に付くものではなく、継続した学習が必要である。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第4学年	言葉、情報、書くことの領域で目標値より大きく下回った。		
第5学年	目標値に対し、漢字（書き）が下回った。その他は概ね上回った。	目標値に対し、漢字（書き）が下回った。その他は概ね上回った。 (第4学年時)	
第6学年	目標値に対し、言葉の理解や文章を書くことが下回った。	目標値に対し、言葉の理解や文章を書くことが下回った。 (第5学年時)	叙述に即して文章の内容を捉えることに課題が見られた。 (第4学年時)

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値に対して、漢字を正しく書くこと、主語と述語の関係を理解すること、ローマ字を正しく読むこと、国語辞典の使い方の理解、漢字の部首の理解が大きく下回った。	目標値に対して、説明文の内容を読み取る力（中心となる語や文を見付け要約する）は、上回った。相手や目的を意識したり、書く内容の中心を明確にして文章の構成を考えることが、大きく下回った。	学習に意欲的に取り組む様子が見られる。一方、文章を書くことに苦手意識をもつ児童が多い。新出漢字の学習には真面目に取り組むが、知識の定着に結び付かない児童が多い。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値に対して、漢字を正しく読むことはおおむね上回っている。敬語についての理解についての項目は、目標値を大幅に下回った。	目標値に対して、物語や説明文の内容を読み取ることにについては上回った。文章を書くことについては、目標値を下回った。	学習には意欲的に取り組んでいる児童が多い。知識の定着やそれらを活用していくことに課題がある。

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 配当漢字について单元ごとに小テストを行ない、繰り返し練習することで定着をはかる。	・ 説明文を段落ごとに読み、文の構造を理解できるようにする。 ・ 物語文の中心人物の心情変化を読み取り、音読に生かすようにする。	・ 教科の学習進度に合わせて並行読書を推奨する。 ・ 友達同士で学び合いをする機会を設定する。

（2）中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 漢字の読み方や成り立ち、部首を確認し、漢字に興味をもたせるようにする。家庭学習の習慣を付け、小テストを繰り返し行い、漢字を書けるようにする。 ・ 分からない言葉について、日頃から辞書を引く習慣を付ける。	・ 国語だけでなく、他教科においても自分の考えを整理し、文章にまとめる機会を増やす。 ・ 单元計画のゴールに、相手を意識して、書いて伝える活動を設定する。相手や目的を意識して、伝えたい内容を明確にする経験を多くさせる。	・ 読書の機会を増やしたり、辞典を活用する機会を増やしたりして、読書量を増やし、語彙を豊かにしていく。 ・ 児童の興味関心を基に单元計画作成し、意欲が持続するようにする。 ・ 家庭学習の仕方を考えさせ、漢字学習に計画的に取り組ませる。

（3）高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 漢字の読み、書きを定着することができるよう、文章から漢字の意味や用法を確認する学習を繰り返し実施する。 ・ 敬語について、実践的な学習など、実際の場面を用いた取組を行う。	・ 自分の考えをまとめたり、意見を読んで感じたことを書いたりする学習を増やす。 ・ 自分の考えと他者の考えを比較する時間を取り入れることを通して、多様な考え方があることに気付くことができるようにする。	・ 言葉や漢字の成り立ちなどを体験的に学び、学習楽しさを感じることが出来る活動を取り入れる。 ・ 計画的に学習に取り組むことができるように学習計画表などのツールを活用できるようにする。

